

1 - 7 函館付近の地震群発について

Earthquake Swarm near Hakodate, Hokkaido

気象庁，地震予知情報室

OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

函館付近では第1図に示すとおり，昭和53年（1978年）10月28日ころから微小地震が群発し始めた。そしていくつかは函館付近で有感となり，函館海洋気象台でも11月5日11時02分に震度I（M：3.4）を観測した。

北海道大学（理学部）の観測によると，震源地は函館の沖合5～10kmに集中し，震源の深さは5～15kmで比較的浅いと推定された。この微小群発地震は10月29日をピークに11月8日ごろまで続いた。その後しばらく静穏に経過したが，昭和54年（1979年）2月10日ころから再び活発化し始めた。そして函館海洋気象台で観測した有感地震も，3月に2回，4月に8回（うち震度Ⅲが3回）と増加した。しかし，5月にはいるとともに，その活動は次第に衰え，5月11日の有感地震（震度ⅢとⅡ），6月1日の有感地震（震度Ⅱ）の前後にやや活発化した以外は，その後目立った活動はみられていない（6月10日現在）。

なお，函館周辺には次表に示すように，群発地震が過去いくつか発生している。これをみると，函館付近では今回のように群発地震が数か月以上続いても，特に珍しい現象とはいえないようで，また主震のMもせいぜい5どまりとなっている。このように，過去函館周辺の群発地震が大地震と結びついた事例はないが，何分にも北海道の地震歴は，最近100年足らずと非常に短いので，これだけからはなんともいえない。

第1表 函館周辺の群発地震の過去の事例

Table 1 Earthquake swarm that occurred near Hakodate in the past.

1. 1935（昭10）年8月の茂別付近の地震 8月22日05時50分ころから，上磯郡茂別村（茂辺地）付近に地鳴を伴う地震が続発し，同日10時ごろまでに，茂別村で15回，当別で10回，上磯町で7回，釜石村で5回の地震を感じた。また，桧山郡厚沢部村の館では，8月22日に6回，24日に1回，25日と26日に各2回，28日に1回の地震を感じた。なお，函館では8月22日に5回，24日に1回，25日に2回の有感地震（最大震度Ⅲ）を観測した。
2. 1938（昭13）年1月・4～5月の大野付近の地震 1月3日から5日にかけて，亀田郡大野村付近に局発性の地震が続発し，大野ではこの間

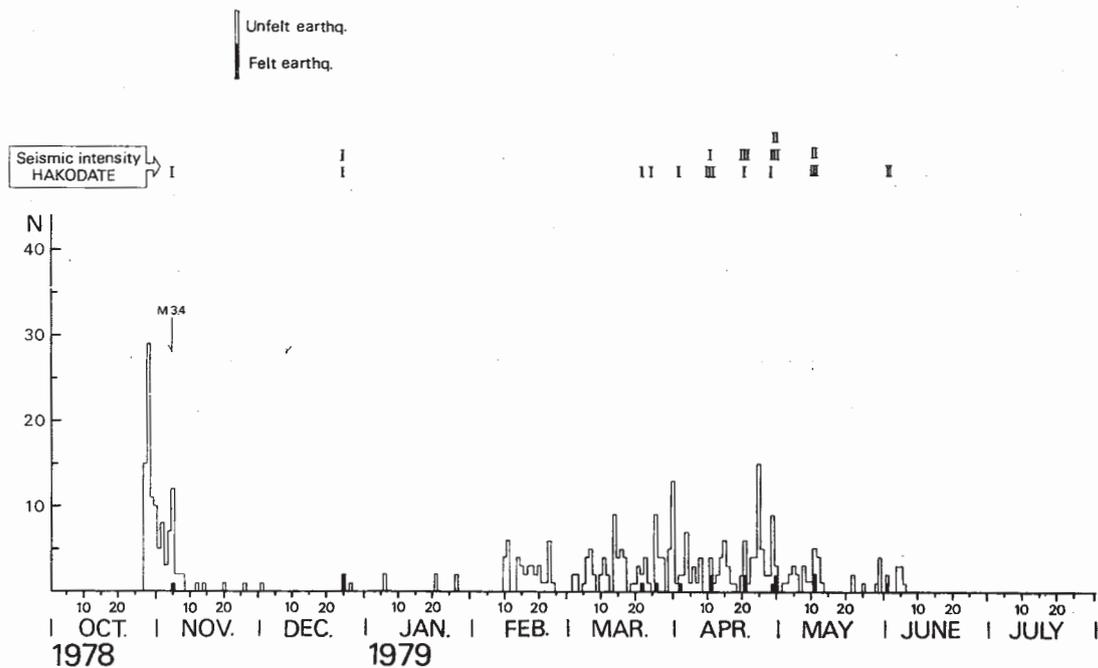
6 回ほどの地震（最大震度Ⅲ）を感じた。函館では1月4日00時37分に震度Ⅰの地震を観測した。その後しばらく平静であったが、4月6日から7日にかけて再び大野付近に地震が続発し、大野ではこの間8回の地震（最大震度Ⅱ）を感じた。その後、大野では4月24日に1回、5月3日に3回の地震（最大震度Ⅲ）を感じたが、このうち5月3日18時30分の地震は函館でも有感（震度Ⅰ）であった。

3. 1939(昭14)年5～6月の大野付近の地震

5月10日14時12分ころ、亀田郡大野村付近にやや強い局発性の地震が発生した。大野では震度Ⅳで地鳴を伴った。その後大野では5月16日に3回（最大震度Ⅲ，地鳴を伴う），5月20日と6月8日に各1回（いずれも震度Ⅰ，地鳴を伴う）の地震を感じた。

4. 1969(昭44)年10月～1970(昭45)年2月の横津岳付近の地震

10月14日23時39分ころ、渡島半島南部の大沼付近で音響を伴う地震を感じた。それ以後横津岳付近に局発性の小さな地震が発生し始め、そのうち、12月5日10時09分の地震は函館でも有感（震度Ⅰ）であった。この横津岳付近の地震は、翌(昭45)年1月下旬ころからさらに活発化し、函館でも1月29日、2月8日・9日に有感地震を観測した。これら一連の小群発地震の主震ともいべき地震は、2月8日16時56分ころの地震(M4.8)で、各地の震度は、函館で震度Ⅲ（地鳴を伴う），森・室蘭・江差で震度Ⅱ，苫小牧で震度Ⅰであった。



第1図 函館付近の地震活動の変化

Fig. 1 Seismic activity near Hakodate, Hokkaido.